

科目	都市情報論	担当	山田 正人	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位
<p><b>【授業目標・到達目標】</b>  現代社会の情報は、DB(データベース)大きさによってクラウド化、センサーの精度によって自動車も自動で止まるようにプログラミングされている。授業ではまずセンサーとは何か、DBとは何か、どこに置かれるものか、現実を見る。また、GISやITSへの応用についてみる。そして、センサーとDBに登録される我々の情報政策についてみる。  新聞等に出てくる現代の情報通信事情に対しついていけるようにすることを目標としている。</p> <p><b>【履修注意】</b>  3年生を想定して講義をするが、4年生も受講できる。  授業中にはノートをとりなさい。(テストの折、自筆のみのノートについては持ち込みを認めている)</p> <p><b>【評価方法】</b>  テストは、100点満点のうち、10点は受講した感想である。  授業時の平常点は、最大10点相当を充てて加点している。  講師の持ち点も、最大10点相当加点することがある。  テストは、少なくとも2回ある。期末テストの点数をもとに、中間試験の点数を考慮して決める。</p> <p><b>【試験について】</b>  持ち込み物件:自筆のみのノート  再テスト対象者:4年生で、40点以上のものについては対象者として考えている。</p> <p><b>【予習・復習】</b>  授業中にノートをとりなさい。(自筆のノートを作ることが復習にもなる)</p> <p><b>【教科書】</b>  スライド(PPT)をWBTで配布する。</p> <p><b>【参考書】</b>  配布印刷物が時折ある。</p> <p><b>【その他の注意事項】</b></p> <p><b>【授業計画・内容】</b>  1-3 センサーとDB(データベース) 実際にデータを取ると新しいことが解る  1. 人の感覚と記憶 lot&amp;DB  2. 都市にあるセンサーとデータベース  3. 医療に用いられるセンサーとデータベース  4 中間のまとめ1  5-7 GIS(ビッグデータの取得)  5. GISと電子地図はどう違うのか  6. GISとGPSは異なるものである  7. GISの用途とGISを使う人  8-10 ITS(データの利用と今後)  8. カーナビとITSの全体構想(既存のシステム)  9. ETCとDSRCの効果(現況)  10. ASVとAHS(車と道路がインターネットにつながれると・・・)  11 中間のまとめ2  12-15 政府(自治体)と情報  12. 住民基本台帳ネットワーク(情報政策のはじまり)  13. データベースとセンサーはどうなるのか1(国家政策の変遷)  14. データベースとセンサーはどうなるのか2(国家政策の変遷)  15. 政府(自治体)と情報のまとめ  16 期末テスト</p>					